

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和4年度学校評価計画

達成度（評価）	
A	十分達成できている
B	おおむね達成できている
C	やや不十分である
D	不十分である

学校名	唐津市立馬渡小中学校
1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・全職員の共通理解のもと、授業公開を行い、思考力・判断力・表現力を育成する校内研究を推進できた。次年度は「めあて」と「まとめ」を関連させ、自分なりの表現を行う授業づくりの研究を深化させる。 ・道徳科を中心に心の教育を推進できた。また、子どもが相談しやすい雰囲気づくり・体制づくりも実践できた。次年度も自他を尊重する態度・実践力を養っていく。 ・学校行事の目的を達成し、また、ICTを活用しながら授業の質を低下させない働き方改革を推進することができた。次年度も手段の改善に取り組んでいく。 ・1人1台タブレットや電子黒板などのICTを活用しながら授業の質を低下させない働き方改革を推進することができた。次年度も手段の改善に取り組んでいく。 ・中学校教員による小学校副担任制や、小学校への乗り入れ授業において成果を挙げている。また、コロナ禍でも地域へ開かれた学校経営を実践できた。次年度も小中教職員同士、地域と教職員との連携強化を図っていく。
2 学校教育目標	良さを見つけ、良さを伸ばす ～自分を愛し、周りの人を愛し、島を愛する児童生徒に～

3 本年度の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ①学力の向上) 主体的・対話的で深い学びの推進 ②心の教育) 人権・同和教育や道徳教育を柱にしたUD教育の充実（児童生徒対応力の向上） ③健康・体づくり) 生活実態調査をもとにした家庭と連絡を取り保護者との連携 ④業務改善) 業務改善、きめ細かな指導の充実 ⑤小中連携) 小中一貫教育による開発的生徒指導の実践（出番一役割一承認）
------------	---

4 重点取組内容・成果指標 5 最終評価

(1)共通評価項目	重点取組			最終評価		学校関係者評価		主な担当者	
	評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	達成度 (評価)	実施結果	評価		意見や提言
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師80%以上	●全職員が、研究主題を意識した授業研究を年1回行う。また、授業研究会にも年に3回以上参加する。	A	・全職員が校内研究のテーマに沿って、公開授業を年1回以上実施できた。 ・教員間で今年度の取り組みの効果を出し合い、来年度の取り組み方も確認した。	A	・授業を参観すると、少人数の良さを十分生かし、丁寧な指導が行われている。引き続き取り組んで欲しい。 ・研修の機会の確保や職員同士で学び合いを行っていることは非常によいことである。	学習文化部	
	○書く活動の充実	○条件に合わせて自分の考えを伝えることができたと答える児童生徒の割合80%以上	○中学校では、根拠を明確にして自分の考えを説明する活動を仕組む。小学校では、まとめやふり返りで、条件に合わせて考えたり書いたりする活動に取り組ませる。	A	・中学校では、根拠を明確にして意見や考察を書く活動を仕組む機会を多くつくった。小学校では、子どもたち自身がキーワードを使ってまとめを書いたり、言葉に表現したりする活動を積み重ねた。	A	・学習の成果物などが校内に掲示してあり、子供たちの学習の様子が分かるいい取り組みである。	学習文化部	
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	●道徳に関するアンケートにおいて肯定的な回答をした児童生徒75%以上 ●担任が、道徳の授業を年1回以上保護者に公開する。	・道徳の授業を中心に心の教育を実践する。 ・「唐津市教育の日」に、全学年『ふれあい道徳』を行い、保護者や地域の参加型の授業を実施する。 ・職員会議で情報交換を行う。 ・いじめの発覚または疑われる事案発生直後、いじめ対策委員会を開催する。 ・人権週間の設定と人権集会を開催する。	A	・唐津市教育の日に全学級で道徳の授業を実施することができた。 ・道徳の授業後のふり返りアンケートでは、今後の生き方に繋がる内容を書いていた子が80%以上。	A	・6月に参観した道徳の授業は保護者も参加し、よかったと思う。 ・挨拶を先にしてくれる子が多い。また、こちらから挨拶をしたらすぐに返してくれる。	児童生徒育成部	
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	●いじめ防止等について組織的対応ができていると回答した教員80%以上。 ●生徒会を中心として、人権活動を年1回以上行う。	・いじめの発覚または疑われる事案発生直後、いじめ対策委員会を開催する。 ・人権週間の設定と人権集会を開催する。	A	・児童生徒の情報交換を、毎月1度行うことができた。 ・いじめと思われる事案に対して、管理職を中心に即時対応を行った。 ・人権に関する活動を、生徒会を中心として12月に行った。	A	・いじめや体罰などアンケートを行い、実態を把握していることはよい。 ・案件が小さい時から手を打っていることがよく分かった。 ・昼休みや休日に仲良く遊んでいる姿をよく見かける。	児童生徒育成部	
	○児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて主体的に取り組もうとするための教育活動	○学校生活アンケートの「将来の夢や目標を持っている」の項目について肯定的な回答をした児童(小6)生徒(中3)75%以上	・夢や目標について目標の樹やキャリアパスポートの活用、マナー検定を通し自ら考えさせる時間を設ける。	A	・将来の夢や目標に対して、児童(小6)生徒(中3)の75%以上が、肯定的な回答を行った。 ・キャリアパスポートについては、昨年度に比べて小中とも内容の改善と活動が行えた。	B	・夢や将来なりたい職業について語る子どもが増えたことがいいことだ。	児童生徒育成部	
●健康・体づくり	●「望ましい生活習慣の形成」	○生活アンケートの「早寝・早起き・朝ご飯」の項目でできていると回答した児童生徒90%以上 ○週に1回小中合同で遊ぶ日、小学校においては児童全員で遊ぶ日を設定する。	・起床、就寝、食事等、規則正しい生活習慣の定着に向け呼びかけを継続する。 ・週に1回小中合同で遊ぶ日、小学校においては児童全員で遊ぶ日を設定する。 ・朝食摂取調査を実施し、家庭と連携して指導する。 ・食に関する指導（栄養指導）を食育月間や給食週間、学活等を通し実施する。	B	・小学校においては規則正しい生活習慣が定着しているが、中学校では起床・就寝時間について指導を要する。しかし、中間評価の時よりも遅刻や欠席の数が減っていることから、改善は見られる。 ・昼休み等に小中合同で運動している姿が毎日見られる。	B	・コロナ禍でも睡眠や健康維持など基本的な生活習慣づくりへの取組は評価できる。 ・不登校傾向の生徒の登校が早くなったようだ。家庭との連携を一層期待している。	保健部	
	●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」	●「健康に食事は大切である」と考える児童生徒90%以上 ○児童生徒の朝食摂取率100%を継続。	・朝食摂取調査を実施し、家庭と連携して指導する。 ・食に関する指導（栄養指導）を食育月間や給食週間、学活等を通し実施する。	A	・給食集会を行い、食に関わる人への感謝の気持ちや、食に関する指導を行った。 ・毎月、給食便りを発行し、児童生徒への配布、校内への掲示を行った。	A	・子どもたちが食の大切さを理解していることは評価できる。 ・掲示物等、よく工夫がされている。	保健部	
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・校務データの整理・活用及び柔軟に校務を割り振る。 ・協働による業務を推進する。 ・定時退勤日、部活動休養日を確実に実施する。	A	・9月以降では60時間を超えた者はなく、特に12月、1月は全ての職員が40時間以下となっている。 ・データの共有、活用に積極的に取り組み、協働を推進できた。 ・部活動休養日を確実に実施できた。	A	・働き方改革推進の取組は評価できる。体調を崩すことなく児童生徒に接して欲しい。	管理職	
	○タブレットPCを活用した教育の個別最適化の推進	○意識調査において、タブレットPCを授業や評価に活用していると回答する教員80%以上	・タブレットPC活用に関する職員研修を実施する。	B	・長期休業中の持ち帰りや遠隔授業の実施など、1人1台タブレットの活用推進を行うことができた。 ・タブレットを使用した指導の効果の検証が必要である。	A	・授業を参観した際も、ほとんどの学級で電子黒板やタブレットPCを効果的に活用した授業が見られた。 ・タブレットを持ち帰った様子からもタブレットを使った学習が好きなのが伺えた。	管理職	

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目	重点取組			最終評価		学校関係者評価		主な担当者	
	評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	達成度 (評価)	実施結果	評価		意見や提言
○連携(小中・地域)	○小中学校教員の協働による教育実践	○中学校教員による授業や学活の時間等を好意的に受け止める児童の割合が80%以上	・中学校教員による乗り入れ授業と小学校副担任制の充実を図る。	A	・中学校教師による乗り入れ授業や学校行事を児童は楽しみにしており、児童アンケートでも肯定的に捉えていた。	A	・実際に乗り入れの授業を参観したが、児童が楽しく活動している姿が見られた。児童・保護者の評価が高いことから、今後も積極的に取り組んで欲しい。	学習文化部	
	○島民参加を促進する教育活動の実践	○学校行事や授業への島民の参観や参加回数が年に30回以上	・学校だよりや、口コミで行事前に告知を行い、授業参観に来てもらう。 ・島民に、ゲストティーチャーや授業の参加者としての来校を促す。	A	・学校便りやスクールニュース等で年間を通して呼びかけを行い、行事や授業参観に参加していただいた。 ・総合学習では、ギター講師や干物づくりなどの活動に島民の方に来ていただき、丁寧な指導をして頂いた。授業後も、島内での良好な関係が維持できている。	B	・コロナが若干落ち着いたことで体育大会などが実施できてよかった。文化祭が島の行事と重なったことが残念だった。学校行事の日程は事前に区長に通知して欲しい。 ・干物づくりを来年はすり身にしたりに、実際に魚を釣るところからしたりしてもいいのではないだろうか。	学習文化部 保健部	